

CONTENTS:

- P1 寄稿 (1)
- P2 カリキュラム・コーディネーター養成プログラム開催
寄稿 (2)
- P3 教職員研修ワークショップ開催・寄稿 (3)
- P4 2019年度前期授業アンケート結果報告

FD・SD活動を通じて教職協働の意識を

教務部長 井上 晋



教務部長に就任してから7か月あまりが経過いたしました。この間、関係各位の多大なるご指導・ご協力の下、何とか過ごしてきたというのが実感です。

さて、教務部が関わるのは各学部・学科における教育のみならず、教職教室、教育センター、LLCなどきわめて多岐にわたっています。私自身、その全てに関わることができているわけではありませんが、日常の様子を拝見して思うことは、どの部署においても教員と職員がうまく連携して運営にあたられているという点です。教育に関しては、AP事業の中で推進してきた質保証にかかる取組みをさらに継続・推進していくことが、本学の持続可能な発展に向けて必要となりますが、そのためには教員と職員が目標達成に向けて協働して事に当たるのが極めて重要であると考えています。お互いに課題を共有し、意見を出し合い、最適の解を見出していくという、まさにPBLを通じて培われるようなチームワーク力、コミュニケーション力、課題解決力が教員、職員のいずれにも要求される時代となっていると言えるのではないのでしょうか。

先生方は元来、自らの信念に基づき、独自の方法で教育に当たる傾向があるものです。一方で、職員の方々は遠慮もあってか、良いと思ってもなかなか意見として出せないことがあるようです。しかしながら、どのような場合においても、個々の力のみで目標を達成することは極めて困難です。教育に関することだけではなく、本学が直面している様々な課

題を共有し、教職協働して解決策を見出していくことが今後ますます重要になります。

本学では、FDフォーラムやキャンパスミーティングなど、教職員が一同に会して課題を共有する場が設けられています。しかしながら、一つの課題に対して教職協働して検討する場合は学内の委員会や各種会議を除けば必ずしも多くはありません。そのような中で、FD・SD活動の一環として毎年「教職員研修ワークショップ」が開催されています。詳細は他に譲りますが、ワークショップではある課題に関して教員・職員の垣根を越えて意見を出し合い、解決策を導くという作業をお願いしています。重要なことは、解の良否ではなく、学部や学科を超えて教職協働で課題に取り組んだという事実です。そこから生まれる新たなネットワークや仲間意識こそが、その成果ではないでしょうか。お世話いただいたコーディネータの皆様にはただただ感謝申し上げるしかありません。また、多忙な中参加していただいた方々には、その経験を各々の職場で活かしていただければと思います。

私自身は“土木屋”と呼ばれる人種です。一人では何もできない世界で生きています。教員と職員がwin-winの関係を築ければと思っています。

カリキュラム・コーディネーター養成プログラム（基礎編）を開催しました

カリキュラム・コーディネーター養成プログラム（基礎編） 8月31日開催

■ 日 時

2019年 8月31日（土） 13:00～15:30

■ 講 師

九州大学 教育改革推進本部 教授 深堀 聡子 氏
 (九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター
 カリキュラム・コーディネーター養成プログラム講師)

■ テーマ

1. 学修成果に基づく学位プログラムの設計・実施・評価・改善の方法
2. 認証評価第3サイクルにおける3つのポリシーと内部質保証
3. 学修成果に基づく教学マネジメントの取組事例

■ 場 所

大阪工業大学 梅田キャンパス 1007教室(10階)

カリキュラム編成に関わる専門的知識を有する人材を育成することを目的に、2019年度FD活動の一つとして、「カリキュラム・コーディネーター養成プログラム（基礎編）」を開催しました。本学からは42名の教職員が参加したほか、摂南大学、広島国際大学の教職員も参加されました。

大学教育改革において、3ポリシーの見直しが求められ、カリキュラム全体の中で学生の学修成果の可視化が必要となり、内部質保証のサイクルの中で、カリキュラム・マネジメントの重要性はいよいよ高まっています。

本プログラムでは、カリキュラムの体系性の重要性を説明でき、1) カリキュラム設計や、2) カリキュラムのリ・デザイン、3) カリキュラムの運営、4) カリキュラム評価を企画・実践できる能力、また、3ポリシーの一貫性との関連については、ディプロマ・ポリシー、アドミッション・ポリシーとの繋がりを備えたカリキュラムの構築を推進できる能力についてご講演いただきました。



寄稿 (2) カリキュラム・コーディネーター養成プログラム(基礎編)に参加して



工学部生命工学科
 准教授
 大森 勇門

2019年8月31日に梅田キャンパスにて開催された研修会に参加しました。九州大学教育改革推進本部の深堀先生を講師としてお招きし、学修成果に基づく学位プログラムの設計と実施、改善について、九州大学での取組事例も含めてご紹介いただきました。そのなかで身につけさせたい知識や能力（学修成果）を学生が達成するために、教員側は多様な講義を豊富に提供するのではなく、最適な講義を如何に“儉約的に”提供するのが大事だと話されていたことが強く印象に残ると共に、

当然ではありますがカリキュラム設計が大変な作業であることを再認識致しました。また本筋とは逸れませんが九州大学での事例として紹介されていた低年次でのアセスメントが大変参考になりました。専門用語の理解度を答えさせるものでよく見かけるアンケート内容ではあるかと思いますが、これを自分が担当する講義にも取り入れてみようと思いました。試験前などに実施することで、学生が自身の理解度を認識し振り返るための材料になりますし、また教員側がどこを大事だと考えているのか学生に具体的に明示する機会にもなり、学習の手助けになるのではないかと考えました。

今回の研修会は大変興味深い内容ばかりで、自身にとって得ることの多いたくさんのお話を拝聴させていただくことができました。このような貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

教職員研修ワークショップを開催しました

2019年度教職員研修ワークショップ 9月4日開催

■ テーマ
「入学生の質の向上」

■ 場所
1004・1005教室他（梅田キャンパス）

工大では第8回目の開催となる「教職員研修ワークショップ（WS）」を9月4日、梅田キャンパス（OIT梅田タワー）を会場として開催しました。昨年度まで2日間の開催でしたが、今年は内容を見直し1日に短縮して実施しました。

今回のWSは「入学生の質の向上」をテーマとし、教員9名、職員6名の総勢15名の参加者が研修に挑みました。アイスブレイクを行った後、参加者は「KJ法」、「目標設定」、「問題点への対応」のセッションと3班に分かれたグループ討議・プロダクト制作に取り組みました。テーマごとのセッションを経て、さらに小グループに分かれて討議、プロダクト制作に取り組みました。小グループでのワークでは、ファシリテーターの皆さんの熱意ある導きや助言を受けながら、各参加者が活発な議論を交わっていました。日頃は膝を付き合わせて接する機会がほとんどない教職員が教職協働で取り組むことで交流も深まり、実り多い研修会となりました。



アイスブレイク



グループワーク



プロダクト発表

寄稿（3）教職員研修ワークショップに参加して



工学部総合人間学系教室
特任講師
瀧川 宏樹

今回のグループワークでは、時間がかなり限られており、短時間でディスカッションをし、発表内容を練り、発表時のポスターの作成まで行わねばならず、時間との勝負であったという間の一日でした。ただ、与えられた課題を決められた時間内で何とか形として仕上げるという作業を通して、時間を管理する

ことに対する意識が改まりましたので、今後の授業で行うグループワークや演習を通じて、学生が時間に対する意識を向上させられるように配慮できればと思います。

また、もう一点個人的な感想として特に記したいのは、ワークショップを通じて普段接点のない先生方や職員の皆様のお話を伺うことができ、同じ学内でも自分が知らない情報は山ほどあるのだと思い、横のつながりの重要性を感じたことです。

今後も色々な方と携わり、お話をお伺いできればと思います。このような場を企画・運営し、準備等にご尽力下さったすべての教職員の方々に心よりお礼申し上げます。

2019年度前期に実施した授業アンケートの概要と集計結果を報告します

【実施科目数等】

区分	対象科目	科目数	履修者数	回答者数	回答率 (%)
学部	前期前半科目	110	5,553	3,300	59.4%
	前期科目	1,230	62,612	43,049	68.8%
	前期後半科目	48	3,105	1,712	55.1%
大学院	前期前半科目	20	382	208	54.5%
	前期科目	109	1,478	876	59.3%
	前期後半科目	14	260	128	49.2%
合計	前期前半科目	130	5,935	3,508	59.1%
	前期科目	1,339	64,090	43,925	68.5%
	前期後半科目	62	3,365	1,840	54.7%
総計	前期全科目	1,531	73,390	49,273	67.1%

※ (全学部、工学研究科、RD工学研究科、情報科学研究科)
 1 3回目または1 4回目に実施、週1回のクォーター科目は6回目
 または7回目、週2回のクォーター科目は1 3回目または1 4回目
 (知的財産研究科)
 1 4回目または1 5回目に実施、週1回のクォーター科目は7回目
 または8回目、週2回のクォーター科目は1 4回目または1 5回目

【設問項目】

設問項目	設問内容	選択肢
問1	この授業は、「授業のねらい、到達目標、進め方、使用する教科書・参考書、成績評価方法」について、授業初めに資料などを用いて説明が適切に行われましたか？	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切でなかった 1: まったくなかった
問2	この授業は、シラバス記載内容あるいは授業初回の説明に沿って進みましたか？	5: 進んだ 4: ほぼ進んだ 3: どちらとも言えない 2: あまり進まなかった 1: まったく進まなかった
問3	この授業は、学生の理解度を配慮しながら進められましたか？	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問4	この授業は、教員の話方は明瞭で、わかりやすかったですか？	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問5	この授業は、黒板の使い方、文字の大きさ・見やすさ、映像資料の図や文字の見やすさ、は適切でしたか？	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切でなかった 1: まったく適切でなかった
問6	この授業の進行度は、内容を理解し到達目標を達成するのに適切でしたか？	5: 適切であった 4: ほぼ適切であった 3: どちらとも言えない 2: あまり適切でなかった 1: まったく適切でなかった
問7	あなたは現時点で、この授業の到達目標をどの程度達成できたと思いますか？	5: 100%~90% 4: 90%未満~80% 3: 80%未満~70% 2: 70%未満~60% 1: 60%未満
問8	この授業1回あたり平均して、予習・復習・レポート作成・課題作成(準備)に何時間かけましたか？	5: 3時間以上 4: 2時間台 3: 1時間台 2: 30分~1時間 1: 30分未満
問9	総合的に考えて、この授業を受講してよかったと思いますか？	5: 強くそう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: まったくそう思わない
問10	この授業を良くするための意見、改善して欲しい事項があれば入力してください。	自由記述

【集計結果】 ※大学院を除く

学部	学科等	科目数	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
工学部	都市デザイン工学科	53	4.24	4.30	4.05	4.05	4.09	4.11	3.37	3.01	4.05
	(前期前半科目)	8	4.71	4.57	4.29	4.29	4.29	4.29	3.71	1.57	4.71
	空間デザイン学科	8	4.72	4.44	4.50	4.56	4.50	4.39	3.78	3.11	4.56
	(前期後半科目)	2	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	2.00	1.00	3.00
	(前期前半科目)	1	4.57	4.14	4.00	4.14	4.14	4.14	3.29	2.57	4.57
	建築学科	39	4.38	4.38	4.11	4.19	4.20	4.19	3.43	3.18	4.29
	(前期後半科目)	1	4.43	3.71	3.86	4.14	4.29	4.14	2.86	3.71	4.43
	機械工学科	54	4.20	4.30	3.92	4.02	4.04	4.01	3.31	2.79	4.03
	(前期前半科目)	12	4.83	4.67	4.17	4.83	4.33	4.33	2.50	4.33	4.83
	ロボット工学科	3	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	3.50	4.00	5.00
	(前期後半科目)	4	4.67	4.67	4.67	4.67	4.33	4.67	3.33	4.00	4.67
	電気電子システム工学科	36	4.24	4.28	4.00	4.07	4.12	4.10	3.27	3.04	4.10
	電子情報システム工学科	33	4.33	4.39	3.99	4.01	4.11	4.10	3.11	3.05	4.07
	応用化学科	32	4.41	4.45	4.09	4.13	4.22	4.16	3.15	3.14	4.20
	環境工学科	43	4.03	4.05	3.79	3.83	3.86	3.84	3.13	3.04	3.81
	生命工学科	32	4.22	4.23	3.93	3.97	4.05	4.02	3.37	3.07	4.00
	共通科目	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他連携科目	9	4.28	4.30	4.15	4.23	4.17	4.16	3.67	2.16	4.09
	(前期前半科目)	4	4.00	4.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00
	キャリア形成の基礎	176	4.32	4.38	4.13	4.19	4.19	4.18	3.50	2.35	4.04
	(前期後半科目)	1	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	2.00	4.00	5.00
	(前期前半科目)	9	4.83	4.83	3.83	4.50	4.17	3.83	4.00	2.17	4.50
	工学の基礎	152	4.26	4.34	3.97	4.00	4.11	4.09	3.52	2.68	4.00
(前期後半科目)	2	4.50	5.00	3.50	4.50	5.00	5.00	3.00	2.50	5.00	
数理学と教育	25	4.28	4.37	3.98	3.97	4.01	4.10	3.20	2.82	4.05	
(前期前半科目)	11	4.06	4.07	3.72	3.86	3.94	3.84	3.00	2.85	3.91	
(前期後半科目)	6	4.38	4.45	4.17	4.23	4.21	4.19	3.42	3.31	4.23	
システムデザイン工学科	12	4.13	4.09	3.75	3.82	3.78	3.85	2.95	2.55	3.85	
(前期前半科目)	7	4.24	4.36	3.98	4.05	4.11	4.07	3.18	2.80	4.05	
(前期後半科目)	13	4.27	4.19	4.05	4.07	4.07	4.06	3.35	2.56	4.13	
空間デザイン学科	8	4.35	4.32	4.02	4.10	4.14	4.12	3.56	3.60	4.29	
(前期後半科目)	2	4.17	4.19	3.93	4.02	4.08	4.01	3.28	2.31	3.97	
(前期前半科目)	19	4.21	4.25	4.11	4.12	4.14	4.12	3.43	2.26	4.03	
共通教養科目	31	4.43	4.46	4.30	4.35	4.33	4.29	3.65	2.31	4.20	
(前期後半科目)	9	4.24	4.30	4.08	4.07	4.20	4.15	3.34	2.65	4.05	
(前期前半科目)	17	4.36	4.48	4.03	4.15	4.22	4.16	3.35	2.56	4.17	
工学関連科目	2	4.45	4.58	4.11	4.20	4.23	4.30	3.53	3.44	4.15	
(前期後半科目)	12	4.38	4.41	4.23	4.27	4.26	4.27	3.58	2.95	4.24	
(前期前半科目)	1	4.12	4.17	3.76	3.87	3.97	3.84	3.31	3.16	3.70	
専門横断科目	8	4.21	4.23	3.83	3.95	4.08	3.93	3.27	2.87	4.02	
(前期後半科目)	1	4.02	4.01	3.73	3.65	3.73	3.83	3.21	2.23	3.66	
情報知能学科	42	4.19	4.27	3.78	3.88	4.01	3.99	3.21	2.80	3.96	
情報システム学科	41	4.24	4.30	3.94	4.01	4.10	4.06	3.24	2.70	4.03	
情報メディア学科	42	4.05	4.11	3.66	3.80	3.87	3.80	3.08	3.07	3.88	
(前期前半科目)	2	4.28	4.31	3.86	4.07	4.15	4.04	3.41	2.76	3.95	
ネットワークデザイン学科	39	4.08	4.17	3.76	3.79	3.94	3.87	3.18	2.97	3.86	
(前期後半科目)	1	4.31	4.36	4.04	4.14	4.14	4.17	3.66	2.57	4.12	
共通科目	118	4.22	4.25	4.00	4.07	4.08	4.07	3.24	2.45	3.93	
キャリア科目	22	4.18	4.19	4.05	4.10	4.08	4.05	3.54	2.34	3.90	
専門科目	4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
基礎教育科目	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
導入領域	26	4.50	4.49	4.29	4.39	4.40	4.35	3.85	3.07	4.27	
教養領域	42	4.29	4.24	4.12	4.15	4.16	4.13	3.50	2.84	4.04	
専門領域	38	4.29	4.27	4.10	4.12	4.10	4.13	3.46	2.99	4.09	
展開領域	26	4.51	4.50	4.47	4.48	4.44	4.40	3.82	2.95	4.36	
その他連携領域	1	4.61	4.36	3.96	4.25	4.36	4.32	3.43	3.25	4.32	
教職科目	3	4.59	4.53	4.41	4.66	4.44	4.72	3.88	3.06	4.63	
(前期前半科目)	25	4.60	4.66	4.53	4.54	4.53	4.52	3.77	2.83	4.50	
平均(合計)	(前期前半科目)	110	4.21	4.24	3.92	4.01	4.05	4.01	3.24	2.60	4.00
(前期後半科目)	1,230	4.27	4.31	4.01	4.07	4.12	4.09	3.38	2.77	4.04	
総計	(前期前半科目)	48	4.27	4.33	4.06	4.09	4.14	4.13	3.37	2.79	4.08
(前期後半科目)	1,388	4.26	4.31	4.01	4.07	4.11	4.09	3.37	2.75	4.04	

授業科目に係る情報の公開について

教育の質向上や教育効果の測定に関わる全学的な取り組みとして、2014年度から授業アンケートの結果および当該授業科目の受講者数、成績分布、合格率等の授業情報について公開を行っています。

本学では授業アンケートの継続実施だけでなく、授業参観の実施やシラバス記載事項の見直しなどの教育改善に取り組んでいます。それらに加え、さらなる教育の質向上を図る一つの方策として、授業アンケート結果の公開範囲を拡大しています。

大学ホームページ「在学生の方へ」から「学生による授業アンケート結果・成績評価状況等(学内専用)」をご参照ください。

～FD NEWSを教職員の情報共有にお役立てください～

学部・学科・小グループ・個人での取り組みや活動をFD NEWSに投稿してください。
 授業運営上の悩みを解決した方法などがあれば情報共有していきましょう。

【お問合せ先】
 大阪工業大学教務部教務課
 TEL.06-6954-4083
 FAX.06-6954-4049
 OIT.FD@joshu.ac.jp